

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	農林水産部農林水産局 治山課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	治山課長 元井 賢一 (山田 要治)	内線	4128 (4134)
------	-------------------	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	林道整備事業	事業採択年度	H3		現計画	再評価時点
事業名	市町営森林管理道開設事業	着工年度	H3	総事業費	約10億円	約12億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	0億円	0億円
事業区間	三日月本郷線			完成予定年度	H21	H23
所在地	佐用郡三日月町三日月～佐用郡三日月町上本郷			進捗率 (内用補進捗率)	68%(-%)	37%(-%)
事業の目的				事業内容		
<p>木材生産、林業振興のみならず、水源かん養、山地保全、環境保全、保健文化など森林の多面的機能の持続的発揮や山村地域の活性化・振興を図ることを目的として整備する。 事業主体：三日月町</p>				<p>林道整備：延長8,730m [残延長2,197m] 幅員 4m 負担割合：国50%、県1%、町49%</p>		
進捗状況	<p>H3年度に着手し、再評価時(H10年度)の完成延長は約3.7km、H15年度末の開設予定延長は約6.5kmで全延長の約75%が供用開始となる見込みである。 再評価時点からの周辺の状況の変化により、H14年度に路線計画の見直しを行い、延長の短縮(約2km)、事業費の減額(約2億)、事業期間を短縮(2年)した。また、H15年度より新規工区を増設し2工区体制による重点投資を図っており、H21年度に事業完了させる予定である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>再評価時に三日月町工事評価懇話会意見として森林に対する期待が大きく、森林資源の保全及び管理が重要課題とされたが、当地は過疎地域であり再評価実施以後も林業従事者の減少、後継者不足が進み木材価格が低迷している。 このような状況の中、過疎地域における今後の森林整備は高性能林業機械の導入や林業従事者の通勤時間短縮などの生産性の向上や労働環境の改善を図ることが不可欠である。また、森林整備の促進により森林の多面的機能を発揮させるため、引き続き本林道の継続整備が必要である。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>当路線の費用便益比 $B / C = 1.52$ となり事業効果が期待できる。また、地元からも早期開通の要望が強く、町の事業実施体制も整っている。</p>					
(3)環境適合性	<p>地形に沿った波形ルートを採用し地形の改変を最小限に抑えている。また、林道の整備にあわせ森林整備を進めることによって森林の持つ多面的機能の発揮を図っている。</p>					
(4)優先性	<p>林道利用区域の森林整備は、緊急かつ重要な課題になっている。また、再評価時に三日月町工事評価懇話会から早期完成を目指すこととの意見されており、森林の多面的機能の発揮、地域の活性化のため、本林道を優先実施する必要がある。</p>					
再々評価の結果	継続妥当	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			